

外科(消化器外科)臨床研修プログラム

【指導医】

- 金澤 旭宣 (消化器外科部長) : 日本外科学会 外科専門医・指導医、日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医、日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器一般: 大腸) ・評議員、日本臨床腫瘍学会 暫定指導医、日本がん治療認定医機構 暫定教育医・がん治療認定医、da Vinci Robot Surgery 術者 Certification、米国外科学会 フェロー (FACS)、緩和ケア研修会修了
- 岩崎 純治 (消化器外科診療科部長) : 日本外科学会 外科専門医・指導医、日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医、日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医、日本肝臓学会 肝臓専門医、日本移植学会 移植認定医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本医師会 認定産業医、緩和ケア研修会修了、臨床指導医講習終了
- 前本 遼 (消化器外科医長) : 日本外科学会 外科専門医、日本消化器外科学会 消化器外科専門医、日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会 消化器病専門医、日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器一般: 大腸)、ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター、緩和ケア研修会修了、臨床指導医講習終了
- 服部 晋明 (消化器外科医長) : 日本外科学会 外科専門医、日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器一般: 大腸)、臨床指導医講習終了

【上級医】

海野 陽資

【期間】 : 4週～8週

【一般目標 GIO】

将来専門とする分野に関わらず、基本的な診療能力を身に付けるために、医療人として必要な人格、態度を育むと共に、初期治療における外科的な診断を行い、基本知識、技能を修得する。

【行動目標 SBOs】

1. 清潔、不潔の概念、消毒法、手洗い法を習得する。
2. 基本的な外科的手技 (糸結び、簡単な創縫合、切開排膿術) を身に付ける。
3. 周術期の輸液管理、栄養管理を理解し、実施することができる。
4. 外科感染症 (手術部位感染 (SSI)、治療) を理解し、実施できる。
5. 上級医と共に担当患者の診断・治療計画をたてられる。
6. カンファレンスにて他の医師、コメディカルに症例を提示することができる。
7. 患者の病態の変化を随時観察し、身体所見、評価、治療経過など必要事項を適切にカルテに記載できる。
8. 外科腫瘍学の基礎的知識を理解することができる。(癌化の機序、TNM 分類、化学療法、放射線療法)。
9. 第二助手として手術に入り、術者の意図をくみながら適切に介助できる。
10. 指導医の病状説明に際し、患者・家族の心情に配慮しつつ、立ち会い、説明内容を記録できる。

- 1 1. 外科的救急疾患を列挙することができる。
- 1 2. 外科的疾患に対する適切な検査オーダーを指示することができる。

【方略】

1. 手術研修
 - a. 手術室での清潔操作、消毒法を理解する。
 - b. 基本的な外科的手技（糸結び、簡単な創縫合）を身に付ける。
 - c. 助手として手術に参加する。
2. 病棟研修
 - a. 朝の回診に参加し、清潔操作、消毒法を理解する。
 - b. 術前、術後患者の状態把握と対応について、入院患者の毎日の診療場面を通じて、指導医とともに経験する。
 - c. 術期の輸液管理、栄養管理を理解し、実施する。
 - d. 術後のドレーン管理などを学ぶ。
3. 救急外来研修
 - a. 外科的救急疾患を列挙できる。
 - b. 外科的疾患に対する適切な検査オーダーを指示する。
 - c. 外科的救急患者の処置・対応を指導医とともにに行い、経験する。
4. 術前カンファレンス（毎週火曜日、消化器内科、病理組織診断科との合同）：
 - a. 症例プレゼンテーションを実践する。
5. 抄読会
 - a. 日々の診療において生じた疑問点に対して、論文を読み、まとめ、わかりやすく発表する。

【週間スケジュール】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 7時半～ | | 術前カンファレンス | | | 抄読会 |
| 午前 | 回診・手術 | 手術 | 回診・手術 | 回診・手術 | 回診・手術 |
| 午後 | 病棟研修 | 部長回診 | 手術・病棟研修 | 手術・病棟研修 | 手術・病棟研修 |

【評価】

病院の評価方法に準じる。

1. 自己評価

- ・PG-EPOC (EPOC2) にて自己評価する

2. 指導医による評価

- ・救急外来診療、ICU 病棟診療において、診断的技能、態度についての指導医による評価を行う。
 - ・救急外来診療、ICU 病棟診療において、治療的技能、基本手技についての指導医による評価を行う。
 - ・病棟カンファレンスでの症例提示において、問題把握、対処法へのアセスメントに関して指導医による評価を行う。
 - ・病棟カンファレンスの症例に対する他職種との検討において、チーム医療としてのコミュニケーション能力に関して指導医による評価を行う。
 - ・指導医は、他者評価表を用いて指導者の評価を行う
- ### 3. 研修医による評価
- ・PG-EPOC (EPOC2) を用いた指導内容、研修環境等の評価を行う

- ・他者評価表を用いて指導医、指導者を評価する
- ・研修委員会の行うアンケート調査に応じる

4. 指導者による評価

- ・指導者は、他者評価表を用いて研修医、指導医の評価を行う。